

主な意見、要望等	市長、担当部署の回答、対応状況等	最新の進捗状況等
花火大会の再開の計画はあるのか？	阪南2区は、花火大会を開催していた頃から会社がたくさん操業しており、そこで花火を打ち上げると24時間稼働の会社にすごく影響を与えてしまうため難しい。何か違う方法・場所で可能性を探ってきたい。	港湾地区内における花火の実施場所や手法について、長年にわたり調査・検討を重ねてまいりましたが、安全面の懸念や交通規制の影響等から、適地の選定は困難な状況です。
だんじり祭りが岸和田市の停滞を招いてるように思う。一部の市民だけが楽しんでいる祭りに市政が力を入れすぎではと思う。	だんじり祭りは自主運営・自主警備がモットーであり、市は後方支援の立場。だんじり祭り、文化の存続について一定の理解をしながら進めていきたい。	
企業誘致の現状を知りたい。税收増、人口増にもつながると思うので。	企業誘致に当たっては、用地は貴重であって広大な面積は可能性に満ち溢れている。例えば、木材コンビナート貯木場について、色々と提案があれば教えていただきたい。ここを埋め立てるとしたら、そこに何を建てるのか。まちづくりについて、大阪府や関係団体と考えて行かなければならない。また、蜻蛉池の周辺、泉州山手線の延伸など。企業の誘致は積極的に進めていきたい。	市域への企業の新規立地や市域外への移転防止を図るため、産業集積拠点および産業促進地区の立地企業に対する助成制度等により支援を実施しています。また、木材コンビナート貯木場を所管する大阪府と連携し、産業誘致を含む埋立後の土地利用の検討を進めています。なお、
大型ショッピングモールがない。「そよら」はあるが小さくなった。	近隣の「ららぽーと」程度の規模の大型店舗であるとか、誘致できればと思う。	商圈人口や既存施設との競合状況、広大な敷地の確保、企業の出店戦略等を踏まえ、具体的な出店可能性が見出された段階で、市としての具体的な対応策を検討いたします。
岸の浦地区の企業誘致 岸の浦大橋一本じゃなくもう一本橋があった方が災害にも強いのでは？橋が一本しかない。誘致するにも何かあったとき二本あれば一本が使えるとか、細い橋一本がすごく心細いのではないか。	そのようなご意見は伺っている。所管は大阪府のため、市としても要望していく。	岸之浦大橋は高い耐震強度を具備していますが、災害や事故に伴う交通遮断等への備えとして、引き続き事業主体である大阪府に対し、同大橋の4車線化や耐震強化岸壁の早期実現を強く要望してまいります。
企業誘致して欲しい。	山直東地区はこれから開発。	市域への企業の新規立地や市域外への移転防止を図るため、産業集積拠点および産業促進地区の立地企業に対する助成制度等により支援を実施しています。また、木材コンビナート貯木場を所管する大阪府と連携し、産業誘致を含む埋立後の土地利用の検討を進めています。なお、ゆめみヶ丘岸和田の企業誘致が概ね完了したことから、今後は泉州山手線の延伸に合わせ、山直東地区の企業誘致を推進してまいります。
木材コンビナートの再開発。	リニアの残土を入れるという話がある。上に何を建てるか、まちづくりについて大阪府や関係団体と考えて取り組んで行く。	木材コンビナート貯木場を所管する大阪府と連携し、埋立ておよび埋立後の土地利用の検討を進めています。
春木祭礼 仮設トイレの増設を。	だんじり祭りの後方支援として、主に観覧者への対応のため実施している。毎年各地区から多数の要望が寄せられるが、観覧者数の規模や予算等総合的に判断し対応。	
企業が出ていかないよう魅力ある市にして欲しい。農村地域の中にも開発できるような区割りを。	企業の良好な操業環境を維持するための設備投資に対して産業支援助成金を交付するなど企業の市外流出を防止するよう努めている。	市域への企業の新規立地や市域外への移転防止を図るため、産業集積拠点及び産業促進地区の立地企業に対する助成制度等により支援を実施しています。
商店街の活気がない。活気あるまちづくりを。	庁舎移転により人の流れの変化が予想される。まちづくりや商店街の今後について色々と課題がある。地元商店街組合や商工会議所などと共に「どんチャカフェスタ」を企画・開催するなど、集客や賑わいづくりを行い、地域の活性化につながる事業を実施している。	商店街の活性化に向けて、岸和田TMOが実施する「どんチャカフェスタ」や岸和田商店街連合会によるプレミアム商品券事業、各商店街のイルミネーション事業及び歳末イベント等に対して補助金を交付するなど、継続的な支援を実施しています。
岸和田城を観光資源に生かし切れていない。城周辺で飲食できるところ・宿泊施設がない。10台くらい止められるバスの駐車場がない。	現庁舎の跡地利用を考えていきたい。岸和田城だけではなく、周辺地域一体としてのまちづくりの観点が重要であると考える。	本町エリアにおいて市の補助金を活用した民泊施設がオープンしました。
岸和田商店街に活気がない。	地元商店街組合や商工会議所などと共に、どんチャカフェスタを企画・開催するなど、集客や賑わいづくりを行い、地域の活性化につながる事業を実施している。	商店街の活性化に向けて、岸和田TMOが実施する「どんチャカフェスタ」や岸和田商店街連合会によるプレミアム商品券事業、各商店街のイルミネーション事業及び歳末イベント等に対して補助金を交付するなど、支援を実施しています。
観光に来ててもホテルが少ない。	工場や倉庫、オフィスなどの新規立地を目指した企業誘致の一環として、ホテル・旅館誘致条例に基づき助成金を交付することでホテル等の新規立地に努めている。	ホテル等の宿泊施設を新設する事業者に対して助成金を交付する制度を設け、新規立地の促進に取り組んでいます。
神於山を整備して活用できないか、展望が良いので。	現状では散策道としての活用を考えている。園路・展望台・その他施設の維持管理については、神於山保全クラブの活動によるところが大きく、市の協働による維持管理の継続を目標としている。施設の整備については、インフラ等の問題もあり、現状では現実的ではないと考えている。PR等の工夫により、利用者数の増加を図りたい。	神於山につきましては、現状では散策道としての活用を想定しています。園路や展望台等の維持管理は「神於山保全クラブ」の活動に依存する部分が大きく、今後も市との協働による維持管理の継続を目標としています。なお、新たな施設整備につきましては、インフラ等の課題があり現時点では困難であると認識していますが、PR等の工夫により利用者数の増加を図ってまいります。
お買い物割引チケット事業はしないのか。	物価高騰に直面する市内事業者を支援するため、市内の加盟店舗等で使用できるプレミアム付デジタル商品券を発行する。プレミア率30%、利用期間11月4日～12月31日まで。	令和8年度に多くの方にご利用いただけるよう、地域ポイントを活用したプレミアム商品券事業の実施を予定しています。
物価高騰、熱中症対策等の活動費用（祭禮含む）の増加。	物価高騰に直面する市内事業者を支援するため、市内の加盟店舗等で使用できるプレミアム付デジタル商品券を発行する。プレミア率30%、利用期間11月4日～12月31日まで。	令和8年度に多くの方にご利用いただけるよう、地域ポイントを活用したプレミアム商品券事業の実施を予定しています。

庁舎の跡地をホテルにし、城と一体で観光資源に。	観光地又は地域コミュニティの場として、皆様に喜ばれる場所にしていきたい。	
泉州地方でも歴史があった港まつり花火を復活しないのですか。	考えているが、過去の花火大会の復活は規制等により難しい。	長年にわたり、港湾地区内において花火を実施する場所及びその手法について幅広く調査・検討を重ねてきましたが、安全面における懸念や交通規制の影響等から適地を見い出すことができない状況です。
観光客がスーツケースを持ってお城方向へ歩いている。また、外国や地方からのお客様をお迎えすることがあるが毎回困っている。大型ロッカーがあれば、もっと集客が見込め、活性化にも繋がるのでは。	岸和田駅の周辺に大型ロッカーはない。民間事業者の協力を求めている。	岸和田駅前通商店街のコンビニエンスストアにおいて手荷物預かりサービスが開始されました。
振興券はないのか。	物価高騰に直面する市内事業者を支援するため、市内の加盟店舗等で使用できるプレミアム付デジタル商品券を発行する。プレミア率30%、利用期間11月4日～12月31日まで。	令和8年度に多くの方にご利用いただけるよう、地域ポイントを活用したプレミアム商品券事業の実施を予定しています。
プレミアム付デジタル商品券について、高齢者は難しい。抽選は知らなかった。一般販売も仕事で買えない。	補正予算成立を待ってからの広報開始であり、市公式ウェブサイトやSNSで発信した。ご理解いただきたい。	デジタル商品券の利用が困難な方に、別の方法により商品券を利用していただけるよう検討を進めています。